

# セレッジ通信

## 20年8月



Photo taken in  
China, Yunnan

株式会社セレッジ

An aerial photograph of a dense urban area with various buildings and streets. Four light blue circular callouts are overlaid on the image, each containing a white number from 1 to 4, corresponding to the text blocks below.

1

新型コロナウイルス撲滅に向けて、ワクチンの研究が盛んになっている。現在約165種のワクチンが試験段階に入っており、6種はすでに第3相臨床試験段階に入っている。

2

外国人の入国制限措置の緩和で、日本政府はまずベトナムとの往来を再開させる事となった。セレッジの外国籍人材採用支援サービスにより、昨年末からクライアント企業様に採用（内定）された人材達の在留資格認定書が続々と交付。

3

セレッジ第3弾オンラインセミナーを開催。世界を舞台に活躍できるグローバルリーダーの育て方や海外ビジネスにおける「異文化理解」の重要性についてご紹介。

4

世界各国でロボットが大活躍。ロボットの進化に最も大きな影響を与える技術は人工知能（AI）であり、現在すでに世界ではハイクラスのエンジニア獲得競争が起きている。

# 世界中が猛スピードで 新型コロナウイルスのワクチン開発を加速!



世界保健機関（WHO）はスイス現地時間8月6日、新型コロナウイルス感染症の定例記者会見を開きました。WHOの緊急事態対応を統括するマイケル・ライアン氏は、「世界で約165種のワクチンが試験段階に入っており、26種が臨床試験段階に入っている。そのうち6種はすでに第3相臨床試験段階に入っており、その中のさらに3種は中国のものだ。短期間にこれほどの成果が出るとは信じがたい。次の段階としては、ワクチンの安全性と有効性を確保し、第3相臨床試験で大規模な検査を行う。WHOはより多くのワクチン候補が第3相臨床試験段階に入ることを願っている」と述べました。

各国が新型コロナウイルス撲滅に向けて、ワクチンの研究に励んでいる段階で、研究機関と製薬企業などが協力して、量産体制を整備するなど早期の供給に向けた動きが加速しています。米国政府は「オペレーション・ワープ・スピード作戦」として着手しています。これは100億ドルを拠出して、2021年1月までに、安全かつ効果的なコロナウィルスのワクチン開発と、3億回分の供給を目指すというものです。世界保健機関(WHO)もまた、2021年末までに20億回分のワクチンを供給することを目標に世界的な取り組みを進めています。

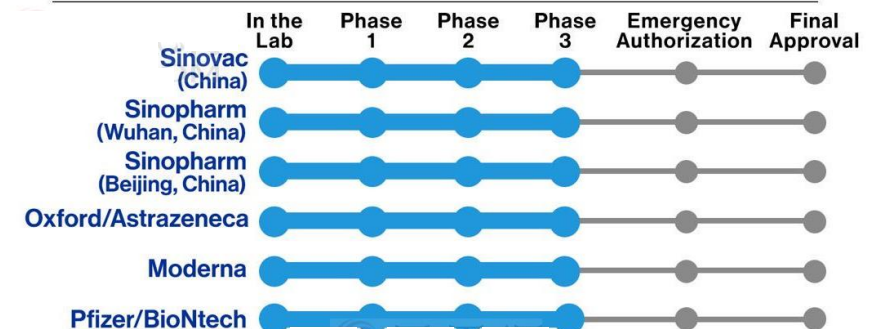
## 第3相試験以降に進んだワクチンとは？

ワクチンを市場に出すまでの期間は通常、10~15年です。ワクチンの臨床試験には、何段階ものプロセスがあります。まずは少数の健康な人々のグループを対象に、安全性と、免疫反応が誘発されるかどうかを確認する第1相試験。次の第2相試験では対象を拡大し、当該の病気に罹患している、あるいは罹患する可能性の高い人達を含めて、ワクチンの有効性を評価します。第3相試験では、対象者を数千人にまで増やし、より多様な人々でワクチンの安全性と効果を確認します。その後、ワクチンは規制当局の承認を受ける事になりますが、これ自体に長い時間が掛かる事もあります。

承認後も、製造や流通において様々な障壁(需要に見合う規模まで生産できるのか・コストはどれくらい掛かるのか)にぶつかる事が可能性はあり、多くのワクチンは、引き続き第4相試験と呼ばれ、無制限で続けられる研究の対象となります。幸いなことに、世界中のコロナウィルスを早く鎮めたいという思いから、既に第3相試験以降に進んだワクチンが多数あります。

## Covid-19 Vaccine Watch

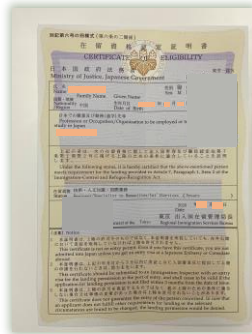
LEADERS IN THE GLOBAL COVID-19 VACCINE RACE



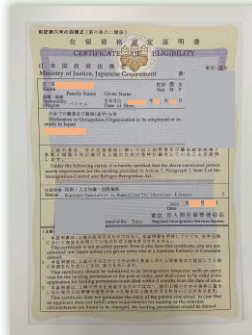
電子機器メーカー様



中国人・J様



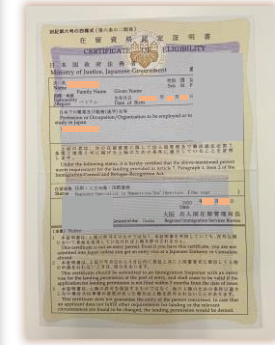
ベトナム人・N様



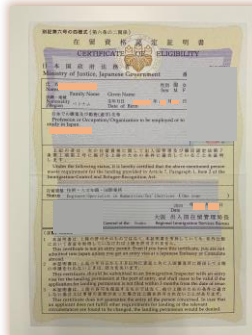
金属加工企業様



ベトナム人・C様



ベトナム人・H様



先月より、外国人の入国制限措置緩和の第1弾として、日本政府はまずベトナムとの間でビジネスレベルの往来を再開させる事となりました。再開を踏まえて、セレッジの外国籍人材採用支援サービスにより、昨年末からクライアント企業様に採用された人材達（ベトナム籍、中国籍の人材を含む）の在留資格認定書が続々と交付されました。新型コロナウイルス拡大の影響で、出入国在留管理庁で認定書の交付が一時的に停止していましたが、ようやく再度スタートとなりました。

新型コロナウイルスの影響により、各企業の外国籍人材の入国が予定より大幅に遅れました。そのため、入国を控えている人材達は、日本企業の内定を頂いた以上、現地での就職活動も止めたものの、今後の日本への入国時期が未定なので、かなり不安を感じています。人材の不安感を多少でも緩和し、日本へ来るまでの待機時間も有効利用するため、弊社は徹底的に日本語の会話トレーニングをオンラインにより実施しております。会話トレーニングを通じて、人材達に日本との繋がりの実感を持たせ、日本語能力の向上が効率的にできるようになりました。予想外のコロナ禍でしたが、その代わり待機時間を有効利用する事により、人材達が予定より早く日本語能力もアップする事ができ、よりスムーズに日本へ入国・入社できるようになるでしょう。



ベトナム人  
第一号来日!

(セレッジのベトナムパートナー企業の人材)



国際的な人の往来再開に向けた段階的措置に基づき、日本政府は7月29日から一部対象について新規査証等の申請受付を開始しています。

ビジネス上必要な人材等の出入国について例外的な枠が設置されました。出国前、入国時・入国後のそれぞれの段階においてPCR検査の実施、接触確認アプリの導入、入国後14日間は宿泊施設等での待機などのレジデンストラックにより日本への入国が認められるようになりました。



入国制限が解除されてから、一番に入管庁から日本への入国許可を頂いた人材は、なんと、セレッジのベトナムパートナー企業の人材でした！航空旅券を含め諸手続きを経て、今月より、来日ベトナム人第一号として、ようやく無事に日本へ入国できました。

セレッジの外国籍人材採用サービス支援により、各日本企業に採用された複数名のベトナム人材達(在留資格認定済み)が入国を首を長くし待機となっており、今後、各企業様と調整した上、徐々に入国できる運びです。



新型コロナウイルス感染拡大の中、日本マーケットの縮小を迎える日本企業は、国内外に有効な打開策を打てるグローバルリーダーの育成が急務！

当セミナーにおいては、外国人採用のコンサルティングのプロ集団でもあるセレッジと、海外経験と外国人マネジメントの経験を持つ代表の菅野より、コロナ前と異なるこれからのグローバル時代を生き抜くためのグローバルリーダーの育て方を紹介致します。

オンラインが重視されるウィズコロナ時代は地域、国境を越えずビジネスが起ころ、様々な異文化を乗り越えるタフさがリーダーに求められます。自身の経験に基づいた異文化マネジメントについてお話しし、グローバルリーダーとは何か？なぜ、必要なのか？そして、どうすれば育てることができるのか？についてお話しします。

上海日系企業9,600社に採用・人事コンサルティングサービスを提供。2012年に会員制中国人人事サポート組織「上海中堅日企人事クラブ」を設立し、運営。現在同組織は4,000社の国内外の企業が加入している。2014年帰国し、東京大手人材総合サービスの企業事業マネージャー、海外プロモーション企業役員を経て現職に至る。主な講演実績は、「ChinaHR-EXPO2013」、「世界人材会議」、「2019HISセミナー」、「日本経営協会勉強会」、「近畿大学」など国内外多数登壇。

株式会社セレッジ  
Tel. 06-6343-3681 Email: info@selege-asiahr.com  
時間 2020.8.28 16:00-17:00  
オンラインセミナー (オンラインセミナーは20分以内でも参加いただけます)  
https://selege-asiahr.com



第三弾となる今回のオンラインセミナーは「グローバル人材の育成方法」をテーマに、海外経験と外国人社員マネジメントの経験を持つ代表の菅野より、今までと違う新たなグローバル時代を生き抜く為に必要な知恵やオンライン、オフラインを問わず世界を舞台に活躍できるグローバルリーダーの育て方、海外ビジネスにおける「異文化理解」の重要性についてご紹介しました。

今回のオンラインセミナーも複数の企業様のご参加を頂きました上、内容にご好評を頂きました事厚く御礼申し上げます。今後も外部から講師の方をお招きするなど様々なテーマで定期的にオンラインセミナーを実施していく予定でございますので、ご興味ある方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

## 外国籍のグローバル人材育成における課題解決方法

- A) グローバル人材に期待する役割や定義の明確化 (社内定義でいい)
- B) 現地派遣するなら現職重視の価値観教育の徹底 (外国籍)
- C) チームワーク・連携重視の価値観教育と評価制度の連携 (外国籍対策)
- D) 製品・品質・サービスへの徹底したこだわりをグローバル人材 (外国籍) に徹底教育
- E) 現地拠点の駐在員依存体質の段階的見直し
- F) 本社従業員への異文化交流や日本語伝達、以心伝心などの伝統的思考の排除の伝達



## 日本人をグローバル人材へ育成する方法

- ### 異文化を知る機会を与える
- ・異文化研修の定期的実施 (日本的価値観とのギャップを知る)
  - ・一つの国の専門家を目標に設定
  - ・国内拠点・工場に在籍する外国人と仕事と一緒に働く機会を作る (柔軟性を見る)
  - ・国内拠点に在籍する外国人の管理主担当をグローバル人材候補者にする。
- ### 現地拠点とのコミュニケーション業務や折衝業務に参加させる
- ・現地拠点で課題となっている駐在員と現地従業員のコミュニケーション不足解消のため、日本にいる段階から現地拠点と頻りに接触させる。
  - ・語学教育目標を設定
  - ・グローバル人材候補者の強みを明確化する。
  - ・グローバル人材候補者は、国内拠点転勤経験者がベスト。地元を離れた経験は異文化交流にはプラス。
- ### 赴任先環境を整備
- ・人事制度の共通化
  - ・グローバル人材候補者のキャリアパス明確化
  - ・赴任目的にもよるが、環境適応の時間と方法を教育 (駐在員経験者より伝達)
  - ・権限委譲
  - ・赴任期間中の成果目標を定量設定し、教育や補助のみの赴任とならないように計画立案。

### 欧米企業の経営戦略と運動する人事管理

- 欧米企業は従来から福利厚生が充実しており、JDが基本となり、本人の購買、投資、株主、などが明確。中国企業やアジア各国も同様。
- 欧米企業は、事業転換に応じて人員を戦略的に入れ替えた、リストラ政策を実施。
- 2018年より、欧米企業各社は、ハラダイムシフトに際してリストラ政策を実施。

GM	Volkswagen	IKEA
GM: 電動自動車と自動運転車開発 → 15%解雇	Volkswagen: ハイブリッド車に専念 → 7,000人解雇	Verizon: 5G開発専念 → 1万人解雇
IKEA: ネットビジネスへの転換 (DX) → 7,500人解雇		

- 市場環境のハラダイムシフト
- 未来の市場環境を見据えた経営戦略の転換
- 最新技術の開発により既存技術からの脱却



商品配送ロボット



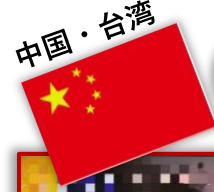
新型コロナウイルス感染拡大を受け、人との接触を最小限に抑えられるよう、英国では自動運転技術を利用した「商品配送ロボット」が開発され活躍しています。アプリに登録して、送り先と時間を入力するだけで、重さ18kgまでの荷物を配送可能となります。



ロボット犬



シンガポールでは人とのソーシャルディスタンスの注意を喚起するように、広報ロボット犬が開発されました。ロボット犬は普通に路上に出て、「皆さんと周囲の人々の安全のため、1メートル以上離れてください」というアナウンスを行い、人々に注意喚起を行っています。



自動消毒ロボット



専門開発会社だけではなく、中国・台湾の小学生の中でもロボット開発ブームが起こっており、積極的にロボット工学の知識を学習し、先生の指導の下、自動アルコール消毒ができるロボットの開発が成功し、それを使用する許可も頂いたようです。



自動検査ロボット



今回の新型コロナウイルス感染拡大を受け、特に注目されるPCR検査に対して、南デンマーク大学が「自動PCR検査ロボット」を開発しました。30秒で検査を完了し、検査機械や人手不足の問題を緩和できる上、医療スタッフの感染リスクも減らすことができます。



世界各国でロボット開発ブームが起こる中で、科学先進国として意外な国—ルワンダでも"ロボット化"現象になっております。

アフリカ中部にあるルワンダ共和国は1990年初頭に内戦により多くの命が失われ産業が崩壊しましたが、国の再建を主導したポール・カガメ大統領が通信やIT、ロボット産業に力を入れていきました。ここ近年、ルワンダではIT産業が盛んになった影響で、一気に近代都市へと変貌しています。

新型コロナウイルスの影響で、ロボット開発が加速されているのは間違いありません。世界経済フォーラムのデータにより、2025年までに人が行う48%の仕事はロボットが行うという予測もあります。ロボットの進化に最も大きな影響を与える技術は人工知能(AI)であり、現在すでに世界ではそれを実現するハイクラスエンジニアの獲得競争が起きています。セレッジは以前から中国、ベトナム、マレーシア、シンガポール等の優秀なIT、ロボット技術、AI関係の人材を確保し、日本企業へより良い人材を採用支援できるよう力を尽くしています。



地元ルワンダの小学校で学ぶ子供全員がパソコンを使いながら授業を受けています。また、ロボットやドローンを作る授業もあります。大学に拘らず、小さい時からIT知識や実践学習の機会を得るようになりました。

新型コロナ対策として青い目が特徴の人型「医療ロボット」が登場しました。患者の体温を測定したり、薬などを運ぶ業務を担当しています。この登場により医療従事者は患者との接触機会が激減しました。



AIシステムを搭載しているロボットは通過する人の体温を迅速に測定すると同時に、マスク着用の有無も認識し、マスクを未着用の人を見つけると、すぐ着けるように注意します。

郊外の道路状況が悪い場所が多いルワンダでは、医療関係の物資を運送する事が困難なため、時速120km以上のドローン型医療ロボットも開発されました。病院の建物のすぐ目の前にパラシュートで物資を投下し届けます。





# Selege

Selege Co., Ltd.

～アジア人材採用プラットフォーム～

**【Osaka】**

大阪市北区梅田1丁目2番2-1300号

大阪駅前第2ビル13F11号

TEL : 06-6343-3681 FAX : 06-6343-3682

**【Tokyo】**

東京都新宿区新宿1-10-5 岡田ビル4F

TEL : 03-5315-4324 FAX : 03-5315-4323